



飛躍への挑戦！
高知県産業振興計画

仁淀川地域アクションプランの進捗状況等（第3四半期）

仁 淀 川 地 域 本 部

平成31年2月18日（月）

仁淀川地域アクションプランの進捗状況等

H 31. 2 . 18
仁淀川地域本部

1 地域アクションプランの平成 30 年度（第 3 四半期）の実施状況（総括）

(1) 総評

全 37 のプランについて、実行支援チームを編成、事業推進に向けた協議と進捗管理を実施し、それぞれの地域アクションプランに掲げた目標の達成を目指して取組を進めている。

事業のさらなるステップアップや課題を抱えている案件については、人材育成の講座への誘導、アドバイザーの派遣、各種補助金の活用など、案件に応じた支援事業を導入し、関係機関と連携した具体的なサポートを実施している。

特に、産振総合補助金を活用して整備した日高村の直販所「村の駅ひだか」については、平成 26 年度の開店以降の集客数が 11 月には 80 万人を突破し、売上についても、平成 31 年度目標の 2 億円を平成 29 年度中に達成するなど好調である。引き続き、集荷体制の整備や商品の品揃えや加工品の開発など、さらなる売上を目指すとともに、観光案内所機能の充実を図り、体験観光客の誘客においても取組を進めている。

農業分野では、平成 28 年度末に産振総合補助金を活用して(有)吉本乳業の牛乳製造設備の機能強化を行い、衛生管理の徹底を図るとともに販路拡大に取り組んでいる。また、(株)フードプランにおいても、産振総合補助金を活用して平成 29 年度に整備した新工場が本格稼働するとともに、関係者と連携した事業展開を検討するなど、増加するカット野菜の取引需要に対応しうる生産体制の強化と地域産業クラスターの形成に向けた取組を進めている。

林業分野では、平成 28 年 4 月に完成した大型製材工場の原木利用量が増加しており、引き続き、稼働率の向上、製品流通の拡大に継続して取り組むとともに、原木増産と安定確保に向けて管内市町村及び森林組合との協議を進めるなど、地域の関係者とともに林業・木材産業の振興を図っている。

水産業分野では、企業組合宇佐もん工房において、産振総合補助金を活用し加工施設の拡張整備を行ったことで、衛生管理の高度化や生産性の向上が実現した。これらを基盤に、うるめいわしと他魚種の鮮魚及び加工品のさらなる販路拡大に取り組んでおり、さらには水産業クラスターにおけるウルメ産業の振興の担い手としても大きな役割を果たす一員として、積極的に活動している。

観光分野では、越知町がアウトドアの拠点施設となるキャンプ場の整備を町内 2 ヶ所で進めており、平成 30 年 4 月に日ノ瀬エリアでオープンした「スノーピークおち仁淀川キャンプフィールド」では、県外からも多くの利用者が訪れ、平成 30 年度目標である宿泊者数 4,900 人を 8 月に達成するなど好調である。また、平成 29 年度から新たに地域アクションプランに追加された、酔鯨酒造(株)の新工場を核とした観光振興の取組においては、インバウンドによる集客も視野に入れた計画を進めており、11 月にスタートした施設見学における誘客は好調であり、地場産品を活用した蔵内販売やイメージ向上イベントなどの取組にも力を入れていくこととしている。

(2) 具体的な動き

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No.2 薬用作物の産地拡大による所得の向上 (仁淀川町、佐川町、越知町、日高村)</p> <p>《事業主体》</p> <p>・農事組合法人ヒューマンライフ土佐</p>	<p>[目標]</p> <p>○薬用作物の作付面積 (ヒューマンライフ土佐)</p> <p>ミシマサイコ H27 実績 : 55ha → H29 目標 : 56ha (実績 : 49ha) → H30 目標 : 56ha → H31 目標 : 70ha</p> <p>サンショウ H27 実績 : 73ha → H29 目標 : 70ha (実績 : 65ha) → H30 目標 : 70ha → H31 目標 : 80ha</p> <p>ダイダイ H27 実績 : 28ha → H29 目標 : 30ha (実績 : 27ha) → H30 目標 : 30ha → H31 目標 : 30ha</p> <p>[取組状況]</p> <p>○薬用作物の作付面積 (ヒューマンライフ土佐 12 月末)</p> <p>ミシマサイコ : 50ha サンショウ : 66ha ダイダイ : 27ha</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域おこし協力隊による栽培支援 (4 月～) ・ミシマサイコ被覆資材処理試験発芽状況調査 (6 回) ・ミシマサイコ 2 年株専用品種調査圃場設置 (6/1) 及び試験処理 (3 回)、種子収量調査 (10/29、11/12、13)、根収量調査 (12 月) ・ヒューマンライフ土佐総会 (6/4) ・ヒューマンライフ土佐に薬用作物専門指導員 1 名 (県委託事業) を 29 年度から引き続き配置 (4/1～) ・サンショウ・ダイダイ栽培講習会 (6/21) ・ミシマサイコ栽培講習会 (11/26) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ミシマサイコ 2 年株専用品種への移行 ⇒ 現地実証圃等を利用した 2 年株専用品種の栽培技術確立 ・ミシマサイコの発芽促進 ⇒ 発芽不良圃場における被覆資材処理効果の検証
<p>■NO.6 生姜の増産と加工品の生産拡大 (土佐市)</p> <p>《事業主体》</p> <p>・(株)前川博之商店</p>	<p>[目標]</p> <p>○生姜加工品の販売額 (園芸年度 : 10月～9月)</p> <p>H26実績 : 40,946千円 → H29目標 : 80,000千円 (実績 : 46,633千円) → H30目標 : 100,000千円 → H31目標 : 200,000千円</p>

	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○生姜加工品の販売額（H29.10月～H30.9月）： 52,622千円（前年同期比112.8%） ○生姜加工品の販売額（H30.10月～H30.12月）： 14,081千円（前年同期比70.3%） ・生産農家との打合せ会 ・生協関係者との現地検討会 ・商談会への参加 ・生姜加工の取組に関する協議（5回） 食品ビジネスまるごと応援事業の活用による生姜加工商品のパッケージ等の改良に向けた協議など ・HACCP研修への参加 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・加工用原料の安定確保 ⇒生姜栽培面積の拡大に向けて生産者勉強会等を実施 ⇒農業生産法人よさこいファーム（自社）と幡多地域の農業者との連携した栽培・原料買い上げ拡大を検討
<p>■NO.7 いの町での生姜等加工品製造施設の整備と販売促進（いの町）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西村青果(株) <p>※地域産業クラスター関連（いの町生姜生産・販売拡大プロジェクト）</p>	<p>[目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○生姜等加工品の販売額（10～9月） H26実績：3.4億円→H29目標：4.0億円（実績：4.6億円） →H30目標：4.0億円→H31目標：4.0億円 <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○生姜等加工品の販売額（H29.10月～H30.6月末）： 3.45億円（前年同期比89.3%） ・町内取引農家との打合せ：49回 ・いの町内生姜生産農家からの加工品用生姜仕入高（H29.10月～H30.6月末）：147.3t（前年同期比116%） ・平成30年度第1回クラスタープラン検討会議開催（5/28） ・H30年12月に新聞報道のあった生姜産地偽装事件を受け、同25日開催の株主総会において法人の解散が決議される ・H31年1月17日付け官報に解散広告が掲載される <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今回の事件を受けて、今後の地域アクションプランとしての位置づけや産振補助金の取り扱い等について、会社の公判の状況などの情報収集を行いながら県といの町で対応を検討中

<p>■No.8 本川きじの販路拡大 (いの町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本川手箱きじ生産企業組合 ・いの町 	<p>[目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○販売額 <ul style="list-style-type: none"> H26 実績：4,913 千円 → H29 目標：12,400 千円 (実績 14,919 千円) → H30 目標：12,990 千円 → H31 目標：18,600 千円 <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○販売額(12 月末)：10,414 千円 (前年同期比 91.6%) ○販路拡大 <ul style="list-style-type: none"> ・高知県産品商談会への参加 (5/29、11/27) ・大阪、名古屋の商談会に参加 (10/19、10/31) ・一般消費者向けの広報ツール作成に向けたステップアップ補助金の活用 (8/20 交付決定) ○広報活動 <ul style="list-style-type: none"> ・県内 PR イベントへの参加：10 回 ・高知食 1 グランプリへの参加：10 位/45 品 ○人材の確保 <ul style="list-style-type: none"> ・いの町の地域おこし協力隊へのきじの飼育方法の教育を実施 (4 月～) ○施設改修 <ul style="list-style-type: none"> ・来年度予定の施設改修に向けた大川村のはちきん地鶏の食鳥処理施設の視察 (6 月) ・関係者協議を定期的実施 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利益率の高い一般消費者向け商品の販売促進 ⇒県内イベント・県外での商談会における営業活動 ・衛生管理体制の確立 ⇒県版 HACCP 第 3 ステージの認証取得に係る加工場等の改修に向けた資金計画の検討 ⇒大川村のはちきん地鶏の食鳥処理場の視察に基づき、具体的な計画について関係者との協議を実施 ・運営体制の強化 ⇒定例会を活用した連携体制の強化
<p>■NO.10 日高村まるごとブランド化 (日高村)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日高村 ・JA コスモス ・(株)コスモスアグリサポート ・(株)イチネンホールディングス ・日高村商工会 	<p>[目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○農産物等の販売額 <ul style="list-style-type: none"> H26 実績：4.3 億円 → H29 目標：4.3 億円 (実績：4.5 億円) → H30 目標：4.3 億円 → H31 目標：4.5 億円 ○「オムライス街道」によるオムライス販売数 <ul style="list-style-type: none"> H27 実績：66,200 食 → H29 目標：67,000 食 (実績：82,905 食) → H30 目標：70,000 食 → H31 目標：100,000 食

- ・ 特定非営利活動法人日高わのわ会
- ・ 農事組合法人霧山茶業組合
- ・ (株)村の駅ひだか

※地域産業クラスター関連（日高村トマト産地拡大プロジェクト）

- 商品・加工品開発件数（H28～31 累計）
H27 実績：0 件 → H29 目標：7 件（実績：9 件）
→ H30 目標：10 件 → H31 目標：10 件
- 県外からの移住者数（H28～31 累計）
H27 実績：2 組 → H29 目標：4 組（実績：7 組）
→ H30 年目標：10 組 → H31 年目標：10 組
- 新規就農者数
H27 実績：2 名 → H29 目標：9 名（実績：11 名）
→ H30 目標：10 名 → H31 目標：10 名

[取組状況]

- 農産物等の販売額（12 月末）：3.21 億円
(前年同期比 117%)
- 「オムライス街道」によるオムライス販売数（12 月末）：
47,336 食（前年同期比 85%）
- 商品・加工品開発件数（H28～H30.12 累計）：19 件
- 県外からの移住者数（H28～H30.12 累計）：10 組
- 新規就農者数（H28～H30.12 累計）：14 名
- クラスタープラン：日高村トマト産地拡大プロジェクト
の取組推進
 - ・ 高知県よろず支援拠点コーディネーターのアドバイスにより、わのわ会トマトソース製造工程の省力化に向けた取組を実施
 - ・ 産振アドバイザー制度を活用し、わのわ会の経営改善に向けた協議を実施（12/3）
 - ・ 日高まるごとイタリアンプロジェクトの実施計画策定に向けたステップアップ補助金の活用（8/28 交付決定）
⇒日高の未来会議開催（2 回）
⇒日高の未来会議検討タスクフォース開催（5 回）
 - ・ オムライス街道スタンプラリー第 5 弾キックオフイベントを実施（6/12）
 - ・ オムライス街道スタンプラリー第 5 弾スタート（H30.6/12～H31.3/31）
 - ・ 日高村絵本コンクール(テーマ：おむライス)最優秀作品の絵本製作、販売による情報発信（7/12 販売スタート）

[課題と今後の対応]

- ・ 日高村アグリネットワークの連携強化
⇒日高村アグリネットワーク会議の開催
- ・ 日高村及び日高村農産物の知名度の向上
⇒販促活動や日高まるごとイタリアンプロジェクトの推進により日高村の知名度やブランド力の向上とイメージアップを図る

	<ul style="list-style-type: none"> ・新たな特産品やトマトを活かした加工品の開発 ⇒クラスタープランの推進による新たな商品や加工品の開発 ・雇用及び移住者の増 ⇒新規参入企業（㈱イチネンホールディングス）による雇用増
<p>■No. 11 仁淀川流域における林業・木材産業の振興（仁淀川地域全域）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森林組合 ・林業事業体 ・素材生産業者 ・製材業者 ・自伐林家等 	<p>[目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○原木生産量 H26実績：8.0万m³ → H29目標：10.0万m³（実績：9.3万m³） → H30目標：11.0万m³ → H31目標：12.0万m³ ○池川木材工業(有)原木利用量 H26実績：1.7万m³ → H29目標：3.0万m³（実績：2.6万m³） → H30目標：3.5万m³ → H31目標：5.0万m³ <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○原木生産量（12月末）：7.1万m³ (前年同期比105%) ○池川木材工業(有)原木利用量（12月末）：1.7万m³ (前年同期比88%) ○施業地の集約化及び原木生産の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・市町村・事業体等林業関係担当者会の開催（5/11） ・増産に向けた事業体への聞き取り調査（13事業体） ・森の工場事業体個別ヒアリング（13事業体） ・森林経営計画作成支援・実行管理指導（4市町村、3組合） ・仁淀川流域管理システムの構築及び生産性向上に向けた打ち合わせ（仁淀川町15回） ・管内森林組合の事業進捗管理及び経営指導 (高知中央森組4回、仁淀川森組3回) ・中央西地区路網整備促進会議（6/26） ・市町村路網整備WG（4回） ○林業事業体、人材の育成 <ul style="list-style-type: none"> ・森林組合の作業システム改善指導 (高知中央森組6回、仁淀川森組6回) ○大型製材工場の稼働率向上 <ul style="list-style-type: none"> ・大型製材工場の進捗管理及び指導（5回） <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・正確な森林資源情報の早期把握と増産に向けた更なる施業地の確保

	<p>⇒市町村との連携による森林情報の収集・提供、路網整備の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森林組合の経営改善 <p>⇒関係各課と林業事務所で構成される支援チームによる経営及び技術指導の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森林管理及び川上・川下の木材需給調整を担うシステム及び組織(仮称：森林管理センター)の構築と人材の確保 <p>⇒仁淀川森林管理推進協議会及び高吾北地域原木安定供給協議会との連携</p> <p>林業成長産業化地域創出モデル事業の活用による組織づくり及び人材育成</p> <p>森林資源情報システムの構築及び施業地の集約化の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新たな森林管理システムに向けた市町村の取り組みに対する支援 <p>⇒林業事務所ワーキンググループ会及び個別訪問による市町村への説明及び意見等の聴取</p>
<p>■No. 12 地域性の高い特用林産物の生産拡大 (仁淀川地域全域)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特用林産物生産団体 	<p>[目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○シキミ・サカキ生産量 H27実績：19.0t → H29目標：19.5t (実績：18.8t) → H30目標：20.0t → H31目標：21.0t ○マッシュルーム出荷量 H26実績：14.3t → H29目標：14.0t (実績：12.4t) → H30目標：14.0t → H31目標：22.0t ○原木マイタケ生産量 H27実績：0.1t → H29目標：0.26t (実績：0.22t) → H30目標：0.26t → H31目標：0.6t <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○シキミ・サカキ生産量 (12月末) ：12.4t (前年同期比 87%) ○マッシュルーム出荷量 (12月末) ：5.0t (前年同期比 50%) ○原木マイタケ生産量 (12月末) ：0.40t (前年同期比 183%) ・特用林産推進チーム会 (高知市 2回) ○シキミ・サカキ <ul style="list-style-type: none"> ・指導に係る情報収集 (仁淀川町 3回、いの町 2回) ・生産者への現地指導 (仁淀川町 16回、いの町 1回、佐川町 1回、土佐市 1回) ・サカキ見本林整備 JA 打合せ (5回)

	<ul style="list-style-type: none"> ・サカキ見本林の整備及び研修 (11/26 16名) ○マッシュルーム <ul style="list-style-type: none"> ・指導に係る情報収集 (7回) ○原木マイタケ <ul style="list-style-type: none"> ・町、支援企画員との打合せ (2回) ・氷室の里定期総会 (1回) ・氷室の里への現地指導 (2回) ○その他 <ul style="list-style-type: none"> ・仁淀川町長者だんだんの里等へ特用林産栽培指導(4回) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○シキミ・サカキ <ul style="list-style-type: none"> ・生産者の高齢化による生産意欲の減少 ⇒意欲ある生産者への支援強化 ・栽培技術の向上 ⇒森林技術センター等と連携した病虫害防除、高齢株の台切り、剪定等の栽培技術指導 ○マッシュルーム <ul style="list-style-type: none"> ・マッシュルームの品種改変に伴う栽培技術の向上 ・害虫防除対策 ⇒森林技術センター等と連携した技術指導の継続 ・生産者が健康上の理由で作業を休止中 (8月～2月予定) ⇒生産再開における支援等 ○原木マイタケ等 <ul style="list-style-type: none"> ・4品目 (マイタケ、アラゲキクラゲ、ハタケシメジ、ナメコ) の複合栽培による安定的な収益の確保 ・集荷、出荷体制の整備等 ⇒森林技術センター等と連携した植菌・培養等の技術指導の継続
<p>■No. 13 自伐型林業を核とした産業づくりと地域の活性化 (佐川町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・佐川町 ・自伐型林業に取り組む個人・団体 <p>※地域産業クラスター関連 (佐川町で展開する自伐型林業での木材産業クラスター)</p>	<p>[目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○林業関連新規就業者数 H27実績：5人 → H29目標：12人 (実績：10人) → H30目標：18人 → H31目標：24人 (H28～31累計) ○山林の集約化面積 H27実績：0ha → H29目標：200ha (実績：112ha) → H30目標：300ha → H31目標：400ha (H28～31累計) ○ものづくりと連携した起業者 H27実績：0人 → H29目標：－ → H30目標：－ → H31目標：3人 (H28～31累計)

	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○林業関連新規就業者数（12月末累計）：12人 ○山林の集約化面積（12月末累計）：167ha <ul style="list-style-type: none"> ・地域おこし協力隊採用 6人(自伐型林業2人、ものづくり関連4人) ・地域おこし協力隊任期満了者、地域おこし協力隊による任意団体への高密度森林作業道の整備委託（6/18～） （林業成長産業化地域創出モデル事業の一環として、佐川町が実施） ・県外視察：町産材を活用した加工品製造に向けての視察（7/26～7/28） ・佐川町自伐型林業研修の開催 町民向け研修：4回 地域おこし協力隊スキルアップ研修：2回（9/24～9/26、11/13～11/15） ・「森から伐り出す未来のしごと」説明会（地域おこし協力隊募集説明会）：2回 ・「森から伐り出す未来のしごと」体験会：佐川町で自伐型林業の現場見学、さかわ発明ラボでものづくり体験（11/24～11/25） ○さかわ発明ラボ <ul style="list-style-type: none"> ・放課後発明クラブ開催（毎週木曜日） ・町産材を活用したWSの開催2回 ・商品開発1件（植物模型） <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山林の集約化 ⇒土地所有者へのアンケート調査結果をもとに、佐川町森林長期施業管理契約締結の推進 ・自伐型林業のビジネスモデルづくり ⇒地域おこし協力隊の採用・育成と自立化、自伐型林業者による組織設立に向けた検討、低質材の活用促進に向けた施設整備の検討 ・さかわ発明ラボの運営体制の確立 ⇒運営体制構築の検討、法人設立に向けた検討
<p>■No. 14 宇佐の一本釣りうるめいわしのブランド化（土佐市）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業組合宇佐もん工房 	<p>[目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○うるめ商品の販売額 H26実績：61,550千円 → H29目標：100,000千円（実績：77,785千円） → H30目標：100,000千円 → H31目標：100,000千円

<p>※地域産業クラスター関連（宇佐・浦ノ内地区水産資源活用クラスタープロジェクト）</p>	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○うるめ商品の販売額(12月末)：68,694千円 (前年同期比 116%) ・一本釣りうるめ祭りの開催(5/13～5/31)：12店舗参加 ・イメージキャラクター「うるえもん」を活用した「うるめマップ（土佐市内のうるめ料理提供飲食店8店舗の紹介）」でのシールラリーの実施 ・他魚種を加工した新商品の販売（サバ・タイ・ブリ・カンパチの漬け丼） ・売上向上に向けた協議（4回） ・商談会、イベントへの出展 ・ギフト用詰合せ商品の販売（酒類とのセット商品等） <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原材料の安定確保 ⇒漁協や漁師との連携による原材料の調達力強化 ・販路拡大及び販売促進 ⇒県版 HACCP 第2ステージ認証の H30 年度中の取得に向け、社内に HACCP チームを編成し取組を推進 ⇒「宇佐の一本釣りうるめ」の認知度向上に向け、「一本釣りうるめ祭り」、「うるめいわしシールラリー」を継続して開催 ・うるめ不漁時の加工場の稼働率向上 ⇒他魚種(サバ・アジ・タイ・カンパチ)の一次加工処理及び新商品開発による売上確保 ・中元、歳暮等のギフト需要の取り込み
<p>■No. 16 「土佐和紙」の販売促進と保存・継承（土佐市、いの町、仁淀川町、日高村）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手すき和紙協同組合 ・高知県製紙工業会 ・いの町紙の博物館 	<p>[目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○土佐和紙の販売額 H26実績：4.8億円（機械すき4.4億、手すき0.4億） →H29目標：4.8億円（機械すき4.4億、手すき0.4億） （実績：4.6億円（機械すき4.14億、手すき0.46億）） →H30目標：4.8億円（機械すき4.4億、手すき0.4億） →H31目標：4.8億円（機械すき4.4億、手すき0.4億） ○手すき和紙協同組合加入の事業体 H27 実績：31 事業体 →H29 目標：20 事業体（実績 18 事業体） →H30 目標：18 事業体→H31 目標：31 事業体 <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○手すき和紙協同組合加入の事業体（12月末）：18 事業体 ・紙の博物館入館者数(12月末)： 20千人(前年同期比 95.2%)

	<ul style="list-style-type: none"> ・土佐和紙関係者意見交換会の開催準備 ・紙の博物館内における各種体験メニューの提供 (5/3～5/5) 利用者数：計 373 人 (夏休み期間中) 利用者数：計 263 人 (9 月～12 月) 利用者数：計 97 人 ・Kami 祭実行委員会(いの通信局チーム会)の開催：5 回 ・kami 祭開催 (11/23) ・夜の紙博実施に向けた打ち合わせ：2 回 ・夜の紙博開催 (11/23～25)：774 人 ・ANEX(不織布展示会 6/6～6/8)での土佐和紙展示 PR (製紙工業会) ・高知県伝統工芸品産業等後継者育成対策事業費補助金 活用による短期後継者育成 (4 月:1 名、いの町) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・紙の博物館への集客及び土佐和紙商品の販路拡大 ⇒職人・生産者の顔の見える売り場づくり ・紙の博物館へ寄贈された紙漉き道具活用の検討 ⇒道具の状態を確認し作成した保管台帳に基づき、具 体的な修繕の方法及びスケジュールの検討を実施
<p>■No. 18 いの町中心市街地の活性化(いの町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いの町 ・いの町商工会 <p>※地域産業クラスター関連(いの町生姜生 産・販売拡大プロジェクト)</p>	<p>[目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○中心市街地での事業所の新規開業 (H28～31 累計) H26 実績：2 事業者 →H29 目標：2 事業所 (実績：3 事業所) →H30 目標：2 事業所→H31 目標：8 事業所 <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○中心市街地での事業所の新規開業 (12 月末)： 2 事業所 (トリミング店、司法書士) ○中心市街地活性化事業 <ul style="list-style-type: none"> ・いの町内製紙関係者への事業説明 (4/23) 中心市街地の住民・商店街事業者等への事業説明 (4/25、4/26) ・拠点施設 (いの町元町仮倉庫) 改修整備 水量調査 (6 月)、基本設計プロポーザル (6 月) ・事業案について関係者間協議(5 月末時点：10 回) ・土佐和紙職人育成施設の改修案の見直し決定 (7 月) ・中心市街地活性化協議会開催 (4 回) ・中心市街地活性化協議会ワーキンググループ開催 (5 回) ・中心市街地活性化計画策定 (12 月) ・生姜焼き街道スタンプラリー開始 (11/1～2/28)

	<ul style="list-style-type: none"> ・生姜焼き街道全体会（10/25） ・Kami 祭開催（11/23） <p>→新たな企画の実施：会場を和紙で装飾した提灯「いのまる」で飾る</p> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中心市街地活性化計画に基づく振興策の実施に向けた商店街事業者や住民を巻き込んだ体制づくり ⇒WG の開催、各取組の実行に向けた関係者協議 ・空き店舗の活用 ⇒空き店舗家賃補助事業の実施、空き店舗対策の検討 ・生姜焼き街道・生姜スイーツの取組の PR・周知 ⇒イベントに付随した取組の検討など、商工会、観光協会等関係各所との連携により更に PR・周知を強化
<p>■No. 19 地域産品を活用した冷菓等の製造販売（いの町）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・（有）高知アイス 	<p>[目標]</p> <p>○冷菓等の販売額（1～12月）</p> <p>H26 実績：3.75 億円</p> <p>→ H29 目標：4.32 億円（実績：4.75 億円）</p> <p>→ H30 目標：5 億円 →H31 目標：5.3 億円</p> <p>[取組状況]</p> <p>○冷菓等の販売額</p> <p>（1～12月）：4.9 億円（前年同期比 101.5%）</p> <p>（内訳）</p> <p>海外（卸・催事）販売額（1～12月）：0.69 億円</p> <p style="text-align: right;">（前年同期比 162.0%）</p> <p>国内販売額（1～12月）：3.72 億円（前年同期比 91.8%）</p> <p>売店販売額（街カフェ売上含む）（1～12月）：0.48 億円</p> <p style="text-align: right;">（前年同期比 139.0%）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県外、海外での商談会、プロモーション活動（9月末時点）：25 回 ・新商品発売（モナカアイス 3 種、カップアイス 1 種） ・OEM商品（4月 1 種類、6月 1 種類） ・海外（台湾）新規取引：1 件 ・JETRO の専門家海外同行事業を活用した海外の販路開拓 ・中小機構の支援事業を活用し、海外向け（英語）HP 製作 ・県版 HACCP 第 2 ステージ認証取得（菓子製造業）（7/9） ・高知市永国寺町「高知アイス街カフェ」閉店（7/1） ・高知市高知駅前「高知アイスカフェよさこい咲都」開店（7/20） <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国内外での販路拡大及び新商品の開発、販売 ⇒関西圏及び名古屋の販路開拓

	<p>⇒香港・シンガポールの市場拡大と他のアジアの国々やアメリカを中心とした市場開拓</p> <p>⇒TV、新聞等での広報・宣伝活動</p> <p>⇒県産の原料を使用したドリンクの新商品開発検討</p>
<p>■No. 20 (株)フードプランのカット野菜事業等の展開による雇用の確保と販売拡大 (仁淀川町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ (株)フードプラン ・ 仁淀川町 ・ 庭先集荷の農家 <p>※地域産業クラスター関連 (株式会社フードプラン、仁淀川町等を中心としたカット野菜事業クラスター)</p>	<p>[目標]</p> <p>○(株)フードプランの販売額</p> <p>H26 実績：4.4 億円</p> <p>→ H29 目標：6.0 億円 (実績：6.2 億円)</p> <p>→ H30 目標：6.3 億円 → H31 目標：6.4 億円</p> <p>[取組状況]</p> <p>○(株)フードプランの販売額</p> <p>(H30.9 月期)：6.9 億円 (前年同期比 111%)</p> <p>(H30.10～H30.12 月)：2.0 億円 (前年同期比 117%)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ H29 年度産振総合補助金を活用し新工場及び旧工場改修 (4/5 竣工) ・ ドレッシングの商品化に向けた品質検査を実施 →品質検査を受けて、現状の試作品を見直し、チルド品での商品化を検討中 ・ 事業戦略の策定 (9 月) 関係機関との調整 (6 回) ・ クラスタープランにおけるプロジェクト推進部会の開催 (5 回) ・ 県版 HACCP (第 3 ステージ) の認証取得に向けた申請 →12/19 の審査会を経て認証取得 (12/20) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 増加する取引需要への対応 ⇒関係者協議での進捗管理等により、新工場の円滑な運営および販売戦略推進を支援 ・ 県内産野菜確保の仕組みづくり ⇒町内を中心とした野菜生産の仕組みの構築に向けた検討 (町内耕作放棄地を活用した新規営農等を視野に関係者協議を継続開催)
<p>■No. 21 仁淀川町における茶を中心とした農産物の 6 次産業化推進 (仁淀川町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 仁淀川町 ・ (株)ビバ沢渡 ・ 町内の 6 次産業化に取り組む事業者 	<p>[目標]</p> <p>○主要事業者の販売額</p> <p>H27 実績：50,000 千円</p> <p>→ H29 目標：55,000 千円 (実績：64,332 千円)</p> <p>→ H30 目標：75,000 千円 → H31 目標：95,000 千円</p> <p>○うち(株)ビバ沢渡の販売額</p> <p>H27 実績：20,000 千円</p> <p>→ H29 目標：22,000 千円 (実績：29,126 千円)</p> <p>→ H30 目標：56,000 千円 → H31 目標：57,163 千円</p>

	<p>[取組状況]</p> <p>○主要事業者の販売額（2～12月）：98,707千円 （前年同期比145%）</p> <p>うち(株)ビバ沢渡の販売額（2～12月）：54,394千円 （前年同期比194%）</p> <p>○販促活動の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・village kochi への出店（(株)ビバ沢渡 5/19、20） ・第3回「生活の楽しみ展」への出展（東京） （トレトレ(株)6/7～11） ・料亭濱長での沢渡茶フェア（(株)ビバ沢渡 6/10～7/16） ・仁淀川流域の茶販促イベント（愛媛県）（池川茶園 6/30） ・第4回「生活のたのしみ展」への出展（大阪） （トレトレ(株)9/19～24） ・日高めだかフェスティバルへの出店 （(株)ビバ沢渡 9/23） ・おやつ神社への出店（高知市） （(株)ビバ沢渡 10/13、14） ・雪峰祭（スノーピーク）への出店（池川茶園 10/20） ・はりまやストリートフェスティバルへの出店 （(株)ビバ沢渡 11/10、11） ・大阪商工会議所主催の商談会への出展 （池川茶園 11/14、15） <p>○商品開発、販売促進等による経営の持続安定化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グローバルバウムクーヘン完成披露会（高知商業高校） （高知商業高校・城西館と合同開発、(株)ビバ沢渡 10/13） ・新規店舗の出店（(株)ビバ沢渡） →12/3「CHA CAFE ASUNARO」が高知蔦屋書店にオープン（出店にあわせて沢渡茶を使用したドリンクメニュー開発） <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(株)ビバ沢渡の販売拡大 ⇒円滑な拠点運営及び経営戦略の推進
<p>■No. 22 地域資源を活用した売れる商品づくりと地産外商の推進（佐川町）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・佐川町 	<p>[目標]</p> <p>○牛乳類商品販売額</p> <p>H27 実績：1.27億円</p> <p>→ H29 目標：1.33億円（実績1.22億円）</p> <p>→ H30 目標：1.45億円 → H31 目標：1.57億円</p>

<ul style="list-style-type: none"> ・ JA コスモス ・ 地元農家 ・ 地元酪農家 ・ 佐川町商工会 ・ 地元商工業者 ・ (有)吉本乳業 	<p>[取組状況]</p> <p>○牛乳類商品販売額（4～12月末）：79,611千円 （前年同期比 95.7%）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ さかわの地乳プロジェクト推進会議の開催：8回 ・ 高知県産品商談会への参加 （(有)吉本乳業：2回） （横畠冷蔵：5/29） ・ 「仁淀ブルーライド」での地乳PR（6/3） ・ 一般衛生管理勉強会への参加（(有)吉本乳業：8/3） ・ 第3回さかわの地乳まつり 2018 の開催（12/16） <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地乳のブランド力向上 ⇒地乳プロジェクト推進会議の事業内容の検討、学校教育との連携による新商品開発 ・ 地乳の販路拡大 ⇒四国・関西圏を中心とした県外量販店との取引拡大、さらなるブランド化に向けた情報発信、おいしさの維持、産地の見える製品づくり ・ 衛生管理体制の強化 ⇒県版 HACCP 第2ステージ（認証取得済）に基づく衛生管理手順の遵守及び第3ステージの認証取得に向けた社内体制の構築
<p>■No. 23 柑橘類等地域の農産物を活用した加工品の生産と販売拡大（越知町）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ (株)岡林農園 	<p>[目標]</p> <p>○岡林農園の販売額</p> <p>H26実績：1.4億円</p> <p>→ H29目標：1.95億円（実績：2.11億円）</p> <p>→ H30目標：1.82億円 → H31目標：1.8億円</p> <p>[取組状況]</p> <p>○岡林農園の販売額（H29.9～H30.8月）：1.86億円 （前年同期比 87.9%）</p> <p>（H30.9～H30.12月）：71,662千円 （前年同期比 124.6%）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Food&HotelAsia2018（シンガポール）への参加 （4/24～4/27） ・ 高知県産品商談会への参加（5/29） ・ グッドフード&ワインショー（シドニー）への参加 （6/22～6/24） ・ 酒フェスティバルへの参加（6/21） ・ 居酒屋産業展への参加（8/28～8/30） ・ 名古屋フードビジネスショーへの参加（9/19～9/20） ・ 日本の食品輸出 EXPO への参加（10/10～10/27）

	<ul style="list-style-type: none"> ・北海道リカーズかめはた商談会への参加 (10/17) ・名古屋土佐の宴への参加 (10/31) ・フードスタイルへの参加 (11/7～11/8) ・シアルインターフードへの参加 (11/21～11/24) ・ISO22000 取得に向けた取組開始 (11 月) ・5S 推進による体質改善 (通年) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・組織及び経営基盤の強化 ⇒業務用及び海外部門の販売拡大や 5S、県版 HACCP (第 3 ステージ) 取得の推進継続 ・人材 (管理職等) の確保 ⇒大学等の就職説明会への参加 ⇒就職・移住相談会への参加
<p>■No. 24 ネコ砂 (木質系排泄物処理剤) の生産・販売促進 (日高村)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ (株) エスエス 	<p>[目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ネコ砂 (木質系排泄物処理剤) の販売額 H26 実績 : 46,760 千円 → H29 目標 : 70,000 千円 (実績 : 62,257 千円) → H30 目標 : 70,000 千円 → H31 目標 : 90,000 千円 <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ネコ砂 (木質系排泄物処理剤) の販売額 (H29.9～H30.8 月末) : 72,317 千円 (前年同期比 116.2%) (H30.9～H30.12 月末) : 26,958 千円 (前年同期比 129.5%) ○ネコ砂 (木質系排泄物処理剤) の安定的な製造 ・日産 550 ケース、月産 13,000 ケースを製造 ○新商品の開発・販売のサポート ・製紙スラッジを使用したシステムトイレ対応ネコ砂の本格的な製造、販売の検討 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ネコ砂の安定的な生産体制の構築 ⇒OEM 先のアース・ペット (株) との連携強化 ⇒原材料 (オガ粉) の安定調達に向け、調達先との原料取引の継続と新たな調達先の確保 ・新商品の開発・販売 ⇒製紙スラッジを使用したシステムトイレ対応ネコ砂の本格的な製造、販売
<p>■No. 25 「村の駅ひだか」を拠点とした交流人口の拡大と地域の活性化 (日高村)</p> <p>《事業主体》</p>	<p>[目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○直販市の販売額 H26 実績 : 104,382 千円 → H29 目標 : 200,000 千円 (実績 : 232,191 千円)

<ul style="list-style-type: none"> ・日高村 ・(株)村の駅ひだか <p>※地域産業クラスター関連（日高村トマト産地拡大プロジェクト）</p>	<p>→ H30 目標：220,000 千円 → H31 目標：200,000 千円</p> <p>○フットパス等体験観光客数</p> <p>H26 実績：241 人 → H29 目標：300 人(実績：192 人)</p> <p>→ H30 目標：300 人 → H31 目標：400 人</p> <p>[取組状況]</p> <p>○直販市の販売額（12 月末）：168,279 千円 (前年同期比 98%)</p> <p>○フットパス等体験観光客数（12 月末）：91 人 (前年同期比 67%)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・来客者数（レジ通過）（12 月末）：151,835 人 (前年同期比 98%) ・H26.11 月オープン以降の来客者数（レジ通過） <ul style="list-style-type: none"> ▶4/27：70 万人突破 ▶11/20：80 万人突破 ・産振アドバイザー制度を活用し、観光協会設立に向けた協議を実施（12/7） <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・直販市の機能強化及び観光情報の発信 <ul style="list-style-type: none"> ⇒商品の集荷体制の確立 ⇒特産品生産者の高齢化に伴う後継者づくり ⇒観光案内所機能の充実 (村の駅駐車場内に新たに案内所を整備し、駅内に現存する対応スペースの移設を今年度中に予定) ⇒観光協会設立に向けた協議 (村の駅ひだかが持つ観光関連機能を日高村観光協会(仮称)へ移譲する予定)
<p>■No. 26 「奇跡の清流仁淀川」流域の広域観光推進（仁淀川地域全域）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(一社) 仁淀ブルー観光協議会 ・土佐市 ・いの町 ・仁淀川町 ・佐川町 ・越知町 ・日高村 ・(一社) 土佐市観光協会 ・(一社) いの町観光協会 ・仁淀川町観光協会 	<p>[目標]</p> <p>○仁淀ブルー観光協議会関連のツアー送客数</p> <p>H26 実績：4,153 人</p> <p>→ H29 目標：4,884 人（実績：5,023 人）</p> <p>→ H30 目標：5,421 人 → H31 目標：5,500 人</p> <p>○主要宿泊施設の宿泊者数</p> <p>H26 実績：65,410 人</p> <p>→ H29 目標：69,414 人（実績：37,002 人※）</p> <p>→ H30 目標：70,802 人 → H31 目標：72,000 人</p> <p>※H29 年度休業等施設を除く前年比 101%</p> <p>○主要観光施設の入込客数</p> <p>H26 実績：216,458 人</p> <p>→ H29 目標：250,577 人（実績：240,482 人）</p> <p>→ H30 目標：263,106 人 → H31 目標：276,000 人</p>

- ・(一社) さかわ観光協会
- ・越知町観光協会

[取組状況]

- 仁淀ブルー観光協議会関連のツアー送客数(12月末)
: 6,025人(前年同期比153%)
- 主要宿泊施設の宿泊者数(12月末速報値): 28,877人
(前年同期比95%)
- 主要観光施設の入込客数(12月末速報値): 194,663人
(前年同期比103%)
- ・ホームページ、SNS等による情報発信
- ・旅行エージェントに対するセールス活動(12月末):
訪問240社(首都圏、北陸、中部、関西、中国、四
国、九州、香港)
商談会180社(東京、名古屋、広島、岡山、香川、愛
媛、高知、福岡、香港)
- ・県内外の集客施設等と連携した物産観光PR(12月
末): 4回(東京、愛媛)
- ・クルーズ船物産観光PR(12月末): 13回
- ・仁淀ブルーメールマガジンの配信(12月末): 39本
- ・仁淀ブルー観光協議会総会等の開催
- ・「仁淀ブルーDMO」観光戦略実行ワーキングの開催
- ・JRトロッコ列車「志国高知 幕末維新号」との連携
(列車内ガイドの実施、特製弁当販売など)
- ・仁淀ブルーライドの開催(6/3、全国24都道府県343
人参加)
- ・ガイド研修会の実施

[課題と今後の対応]

- ・協議会関係者(事務局、市町村、観光協会等、県)の
パートナーシップの強化
⇒理事会や観光担当者会で仁淀川地域観光振興計画の
方向性の確認や実践に向けた協議を実施
⇒「仁淀ブルーDMO」観光戦略案ワーキンググループを
開催し、官民・産業間・地域間との持続可能な連携
を図る仕組みを構築するとともに戦略推進のPDC
Aサイクルを実施
- ・仁淀川地域観光関係者の協議会パートナーとしての連
携意識醸成及び自主財源の確保
⇒仁淀川地域観光に携わる人材の育成
⇒市町村、観光協会と連携して仁淀川地域の観光施
設、宿泊施設、食事施設等の事業者を訪問し、協議
会活動への賛同者の獲得及び賛助会費の確保
⇒仁淀川地域のお土産品や特産品の開発・販売

■No. 27 観光交流施設の整備・運営による新居地区の活性化（土佐市）

《事業主体》

- ・土佐市
- ・特定非営利活動法人新居を元気にする会
など

[目標]

○施設来客者数

H27実績：0人 → H29目標：9万人（実績：13万人）
→ H30目標：15万人 → H31目標：12万人

[取組状況]

○施設来客数（12月末）：131,755人

（前年同期比 135%）

・直販所レジ通過者数（12月末）：32,293人

（前年同期比 102%）

・直販所売上高（12月末）：27,056千円

（前年同期比 104%）

・飲食店レジ通過数（12月末）：18,913人

（前年同期比 99.5%）

・飲食店売上高（12月末）：18,826千円

（前年同期 105%）

○イベントの実施（3回）

- ・日本風景写真協会写真展（4/1～5/5）
- ・スイカメロンフェア（6/10）
- ・メロンフェア（12/2）

○テナント間の連携事業実施

- ・ごちゃ南風フェス 2018 春（2周年イベント）

（4/28～4/30）

○施設 PR の実施

- ・新居緑地公園フォトコンテストの実施

○直販所の集出荷を強化

- ・HP（南風・土佐市役所）での出荷者募集、募集チラシ配布、出張集荷等を実施

○新居緑地公園リニューアルオープン（6/6）による新規ファミリー層の呼び込み

- ・直販所：駄菓子類の提供

公園へのアイスクリン・かき氷の出張販売

- ・飲食店：スイーツ類のPR

- ・かき小屋：子どもゴムプールの設置（6～8月）

[課題と今後の対応]

- ・交流人口を増加させるための仕組みづくり

⇒観光案内、情報発信の強化

⇒（一社）仁淀ブルー観光協議会と連携したツアー客の受入や観光商品づくり

⇒観光体験メニュー（カヤック、BBQ、サイクルオアシス等）の提供

	<p>⇒施設の認知度向上及び集客のためのイベント企画・開催（3テナントが連携したイベント等）</p> <p>⇒高知新港に寄港する客船の乗客誘致（出展・出張レンタサイクルなど）</p> <p>・観光交流施設「南風」（直販所・カフェ）の安定的な運営及び来客者等のニーズに合ったサービス・事業の展開</p>
<p>■No. 28 土佐市における体験型観光と食観光の推進（土佐市）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土佐市 ・土佐市商工会 ・宇佐ホエールウォッチング協会 ・地域づくり団体 	<p>[目標]</p> <p>○体験型・食観光の入込客数</p> <p>H26 実績：約2,500人</p> <p>→ H29目標：3,400人（実績：2,877人）</p> <p>→ H30目標：4,000人 → H31目標：6,000人</p> <p>[取組状況]</p> <p>○体験型・食観光の入込客数（12月末）</p> <p style="padding-left: 20px;">：2,141人（前年同期比 74.4%）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・HPによる予約受付、予約状況の提供 ・Facebookによるクジラ、イルカとの遭遇結果の情報共有 ・「土佐の観光創生塾」受講 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホエールウォッチングのさらなる誘客に向けた体制整備 ⇒船体、トイレの改装 ⇒荒天時の代替メニューの検討 ・担い手の確保 ⇒地域おこし協力隊をホエールウォッチングへ期間的に従事させるべく募集 ・塚地峠の体験メニュー化 ⇒ガイドグループの磨き上げ
<p>■No. 29 酔鯨酒造株式会社新工場を核とした体験型観光等の推進による地域活性化（土佐市）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土佐市 ・酔鯨酒造株式会社 	<p>[目標（H31）]</p> <p>○施設来客者数（H29新規A P）</p> <p>H28実績：－ →H29目標：－（実績：－）</p> <p>→ H30目標：500人 → H31目標：2,000人</p> <p>[取組状況]</p> <p>○施設来客者数（12月末）：299人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新工場「土佐蔵」完成（10/18落成） ▶新工場見学コース、瓶詰ラベル貼り体験開始（11/1～） ▶併設ショップ「SUIGEI STORE 土佐蔵」オープン（11/1～） <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体験メニューづくり ⇒多様な関係者との協議の場づくり、メニューの洗い出し等

	<ul style="list-style-type: none"> ・観光客の受入体制の構築 ⇒受入に必要なサービスや施設等の検討、見学スペース・併設ショップ・ESLG（Enjoy Sake Life ガーデン）の活用方法の検討 ・誘客の促進 ⇒誘客計画の作成 ・商品開発 ⇒土佐市の水・米を使った新酒開発の検討
<p>■NO. 31 いの町本川地区での山岳観光の推進 (いの町) 《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いの町 ・いの町観光協会 	<p>[目標]</p> <p>○道の駅木の香温泉・山荘しらさの利用者数 H26 実績：55,482 人 → H29 目標：54,000 人（実績：51,907 人） → H30 目標：55,500 人 → H31 目標：57,000 人</p> <p>○道の駅木の香温泉・山荘しらさの利用者数(12 月末)： 43,802 人（前年同期比 101.9%）</p> <p>○イベントの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・石鎚山系元気ウォーキング大会（5/20、616 名参加） ・UF0 ラインを活用したサイクリングイベント UF0 ラインアタックを実施（7/22、129 名参加） <p>○ガイドの養成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高知県地域の頑張る人づくり事業費補助金を活用したいの町山の案内人講座の開講(全 10 回) 町内の 8 名が参加し、全行程が修了 <p>○観光振興</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本川と吾北での山岳地域での観光について、産振アドバイザー制度を活用し、関係者で協議を実施 ・旅行会社による UF0 ラインを活用したツアーの開催 <p>○石鎚山系連携事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旅行会社向けモニターツアーの開催（5/13、14） ・石鎚山系エリアへの観光客誘客事業補助金制度による旅行支援の取扱開始 ・四国西部エリア戦略型観光サービス創出事業を開始し、(株)ソラヤマいしづちを設立（H30.10 月～） <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山岳観光の新たな旅行商品の開発と PR ⇒「山の案内人」の活用や、登山靴などのレンタル商品を活用し、旅行者や旅行業者のニーズを取り入れた商品開発 ・山荘しらさの耐震・改修に向けた準備による休業 ⇒指定管理料など収支を含んだ運営管理方法の検討 ⇒冬山の営業や冬の体験メニューについての検討

	<ul style="list-style-type: none"> ・養成講座を受講された方の活躍の場づくり ⇒仁淀ブルー観光協議会や石鎚山系連携事業協議会等活躍の場を提供できる関係団体との協議
<p>■No. 32 仁淀川町での観光情報の発信強化と受入体制の充実（仁淀川町）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仁淀川町観光協会 ・仁淀川町 ・仁淀川町内の地域づくり団体 	<p>[目標]</p> <p>○主要観光施設入込数（4施設、4観光資源） （施設：ゆの森、しもなの郷、宝来荘、秋葉の宿） （観光資源：中津溪谷、安居溪谷、桜及び花桃、秋葉まつり） H26実績：70,189人 → H29目標：72,300人（実績：79,152人） → H30目標：73,000人 → H31目標：73,700人</p> <p>[取組状況]</p> <p>○主要観光施設入込数（12月末）：61,484人 （前年同期比103%）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光ガイド養成講座の実施に向けた関係者協議（6/5） ・観光ガイド養成講座の実施（6回） ・定例会として観光報告会を開催（月1回） <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主要観光スポットにおける受入体制の充実による県外観光客の誘致 ⇒観光ガイド養成講座による既存ガイドのスキルアップ ⇒地域としておもてなし観光を進めていくための仕組みづくり（新たなガイド養成等）を検討 ⇒各観光拠点と連携した町内マップの作成など情報発信の強化を検討
<p>■No. 33 歴史と文教を活かしたまちづくりによる観光の推進（佐川町）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・佐川町 ・さかわ観光協会 ・佐川町内の地域づくり団体 	<p>[目標]</p> <p>○上町地区への入込客数 H26実績：15,000人 → H29目標：22,500人（実績：27,279人） → H30目標：23,750人 → H31目標：25,000人</p> <p>○上町まち歩きガイド利用者数 H26実績：4,585人 → H29目標：4,200人（実績：5,089人） → H30目標：4,600人 → H31目標：5,000人</p> <p>[取組状況]</p> <p>○上町地区への入込客数（12月末）：21,963人 （前年同期比106.1%）</p> <p>○上町まち歩きガイド利用者数（12月末）：3,541人 （前年同期比88.8%）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・青山文庫入館者数（12月末）：5,541人 （前年同期比89.4%）

	<ul style="list-style-type: none"> ・青山文庫企画展「志士たちの遺墨Ⅴ」の開催 (6/2～8/26) ・青山文庫特別展「明治維新と佐川」の開催 (9/1～11/25) ・青山文庫冬の企画展「志士たちの遺墨Ⅵ」の開催 (12/1～2/24) ・歴まち協議会事務局会の開催：6回 ・歴史的風致維持向上計画協議会の開催（1/21） ・くろがねの会英語自主研修（毎週） ・くろがねの会観光ガイド勉強会：6回 ・わんさかわっしょい体験博（佐川町体験型博覧会）開催に向けたWS:2回 ・わんさかわっしょい体験博の開催（2/2～3/10 予定） ・さかわ観光協会：佐川町の地域食材を活用した食事メニュー「地乳グラタン」の提供開始（1/26～） <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・さらなる誘客に向けたおもてなしの体制づくり ⇒青山文庫をはじめとした歴史資源の活用及び周遊コースの仕掛け、新たな観光施設の検討等によるクラスターのさらなる推進 ⇒体験型博覧会で実施する体験プログラムの磨き上げ、継続的な博覧会開催に向けての土台づくり
<p>■No. 34 越知町の総合的な観光振興と地場製品の販売促進（越知町）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・越知町観光協会 ・おち駅物販経営協議会 ・JA コスモス ・越知町 など 	<p>[目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○おち駅での販売額 H26実績：65,567千円 → H29目標：125,000千円（H29実績：111,852千円） → H30目標：110,000千円 → H31目標:100,000千円 ○観光ガイドの養成数 H26実績：6人 → H29目標：8人（実績：16人） → H30目標：9人 → H31目標:10人 ○カヌー・ラフティング利用者数 H27実績：2,288人 → H29目標：2,300人（実績：1,695人） → H30目標：2,300人 → H31目標:2,500人 <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○おち駅での販売額（4～12月）：72,977千円 (前年同期比 90.4%) ○観光ガイドの養成数（12月）：16人 ○カヌー・ラフティング利用者数（4～12月）：1,661人 (前年同期比 98.0%) ・おち駅物販経営協議会・総会（9回）

	<ul style="list-style-type: none"> ・おち駅による、スノーピークキャンプ場利用者に向けたバーベキューセットの販売開始（8月～） ・カヌー、ラフティング開始（カヌー：4/28～、ラフティング：4/28～） ・松山街道のガイドツアー等に関する打ち合わせ（6/5、6/13、7/12） <p>○横倉山トレッキングツアー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・モニターツアー実施（4/14） ・パンフレット完成（4/21） ・予約受付開始（4/23） ・ふれあい高新にてツアー実施（7/18） ・龍馬パスポートへの参加（9月～） ・越知町広報（12月号）への新規ガイド募集記事掲載 <p>[課題と今後の対応]</p> <p>体験型観光の利用者数増加 ⇒PRの強化及び実施に向けた支援 おち駅の販売強化 ⇒広報手段や設備更新の検討</p>
<p>■No. 35 体験型観光の拠点となるキャンプ場の整備による交流人口の拡大と地域の活性化（越知町）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・越知町 	<p>[目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○キャンプ場宿泊者数 H29実績：0人→H30目標：4,900人→H31目標：5,400人 ○宮の前公園センターハウスレジ通過者数 H31目標：42,000人 <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○キャンプ場宿泊者数（4～12月）：8,014人 ○スノーピーク監修のアウトドア施設の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・日ノ瀬清流公園キャンプ場 <ul style="list-style-type: none"> ▶オープン（4/22） ▶宿泊棟：工事完了（5/1） ・宮の前公園センターハウス <ul style="list-style-type: none"> ▶建築工事 入札（5/28）、契約議決（6/12） ・宮の前公園センターハウス物販に関する検討・準備 <ul style="list-style-type: none"> ▶役場・スノーピークとの協議（11回） ▶卸業者や他の直販市への訪問・聞き取り（2回） ▶店舗運営について産業振興推進アドバイザーの導入（10/19～） ▶町内の販売商品公募開始（11/1～） ○キャンプイベント（越知小学校の親子を対象）の実施（11/23） ○日ノ瀬清流公園キャンプ場の活用促進及び経済波及 <ul style="list-style-type: none"> ・町内事業者によるキャンプ場イベント広場での出店

	<ul style="list-style-type: none"> ・キャンプ場利用者の町内での食材等購入や周遊促進に向けた関係者協議 ○日ノ瀬清流公園キャンプ場の通信環境の改善 <ul style="list-style-type: none"> ・携帯電話各社への早期の電波環境改善要望（6月） <ul style="list-style-type: none"> ↳各社とも現状をふまえた可能な対応を検討調整 ↳1社は小型基地局整備済（10月） <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・H31.4月の宮の前公園センターハウスオープンに向けた事業進捗 <ul style="list-style-type: none"> ⇒役場との情報共有及び進捗管理の確認 ⇒流域物販に向けた事業者との調整 ・日ノ瀬清流公園キャンプ場の活用促進及び経済波及 <ul style="list-style-type: none"> ⇒町内事業者や商工会など関係団体との連携支援 ・日ノ瀬清流公園キャンプ場の通信環境の改善 <ul style="list-style-type: none"> ⇒携帯電話会社との継続協議
<p>■No. 36 「屋形船仁淀川」を核とした交流人口の拡大と地域の活性化（日高村）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日高村 ・(株)屋形船仁淀川 	<p>[目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○乗船者数 H26実績：3,261人 → H29目標：6,000人（実績：6,071人） → H30目標：6,000人 → H31目標：4,500人 <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○乗船者数（12月末）：5,348人（前年同期比97%） ・ガイド付き乗船者数（12月末）：831人 （前年同期比144%） ・ガイド人数（12月末）：8人 ・ホームページリニューアル（外国語対応）の検討 ・屋形船への乗船と文旦の収穫作業体験をセットにしたモニターツアーの開催（12/21～12/27、H31.1/8～2/3） ・OTAを活用した予約受付を開始 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光客の受入体制の充実 <ul style="list-style-type: none"> ⇒遊覧ガイド募集のチラシを配布 ケイビングガイド2人が乗船して遊覧ガイドの勉強をする予定 ⇒（一社）仁淀ブルー観光協議会との連携強化 ⇒体験交流スペースや飲食コーナーを有する宿泊施設（地方創生拠点整備交付金及び集落活動センター推進事業費補助金の活用を検討中）、売店など観光拠点としての整備を検討 ⇒雨天時や冬期の体験メニューの企画・試行

2 平成 30 年度産業振興推進総合支援事業費補助金の導入状況(交付決定又は採択事業)

(千円)

取組	事業概要	総事業費(補助金額)
<p>■No. 8 本川きじの販路拡大 (いの町)</p> <p>※ステップアップ事業</p> <p>8/20 交付決定</p>	<p>知名度向上・販路拡大に向けたホームページ改修・新たな営業ツールの製作・県内外でのイベント出店・営業活動などの実施</p>	<p>1, 885 (872)</p>
<p>■No. 10 日高村まるごとブランド化 (日高村)</p> <p>※ステップアップ事業</p> <p>8/28 交付決定</p>	<p>特産品であるトマトを活かした村づくりの推進を目指すための日高まるごとイタリアンプロジェクト実施計画の策定</p>	<p>2, 021 (1, 010)</p>

3 県民参画に向けた取組

- ・日高村商工会総会で第3期計画 ver. 3 の説明(5/23)
- ・いの町商工会総会で第3期計画 ver. 3 の説明(5/24)
- ・土佐市商工会総会で第3期計画 ver. 3 の説明(5/25)
- ・いの町観光協会総会で第3期計画 ver. 3 の説明(5/29)
- ・第1回開かれた学校づくり推進委員会(伊野商業高等学校)で第3期計画 ver. 3 の説明(7/19)

4 相談案件：6 件

NO.	相談日	事業種別	相談内容
1	4/18	産業	未来投資型交付金の活用について
2	4/19	農業	地域農業を地域活性化につなげる取組について
3	5/17	農業	文旦農家の起業について
4	5/21	商業	商業施設の移転先について
5	6/15	農業	茶の実オイルを活用した地域活性化への支援について
6	10/3	産業	地下水を利用した硬水の商品化について